

色づいた紅葉もすっかり舞い落ち、冬が近づいてきました。大隈記念館は11月初旬から休館期間に入り、内部では着々と改修工事が進められています。記念館内にあった展示品たちは収蔵庫の中でお休み中。来年、佐賀城下ひなまつりの頃には光と音によって最大限に魅力を引き出された全く新しい空間と展示をお披露目できることと思います。どうぞお楽しみに！



記念館改修工事のご案内

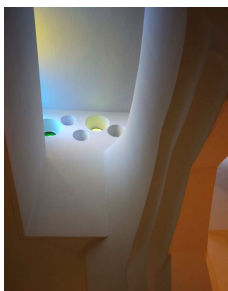


平成27年2月中旬リニューアルオープンにむけて休館中

大隈記念館はただいま内装の改修工事中です。当館は昭和41年に大隈侯生誕125周年を記念して建てられ、翌年オープンしました。設計者はアントニ・ガウディ(スペイン)を初めて日本に紹介した今井兼次先生。建物そのものが大隈侯の人間像・人間愛を表現した総合芸術作品でガウディやシュタイナーの影響が色濃く見られる貴重な建築物です。

来年の2月中旬には、より美しく、一層充実した内容の記念館を皆様にご紹介いたします。一時休館となり、多大なるご迷惑をおかけ致しておりますが、皆様のご理解とご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

(※ 工事期間中、お客様の安全確保のため、生家も見学いただけません。)



▲ 記念館 随所にガウディやシュタイナーの影響が見られます。

▲ ガウディ作 サグラダ・ファミリア(左)
シュタイナー作 ゲーテアヌム(上)



ボランティアグループまきの会通信！



毎月第3水曜日に定例会を開き、勉強会を行っています。今秋は大隈侯と対華21ヶ条要求について学びました。11月には研修旅行として革命家孫文を支援した宮崎滔天兄弟の生家や万田抗跡を巡りました。15名のメンバーでわきあいあいと楽しく佐賀の歴史や大隈侯について学んでいます。今は新しいおもてなしとして、“大隈カルタ”を作成中です。

まきの会の活動にご興味のある方はお気軽に記念館事務所へお声掛けください。



リニューアル豆情報

今回、記念館の総合プロデュースを担当するのは、薩摩藩英国留学生記念館(鹿児島)や東京おもちゃ美術館(東京)など数々の施設を変貌させてきた砂田光紀氏(オフィス フィールドノート)です。古き良きものの魅力を最大限に引き出し、人々を繋ぐ豊かな空間作りを目指す彼の手によって、記念館がどのような変貌を遂げるのか。どうぞご期待ください！

バルーンフェスタ 生家公開 大盛況！



今年も佐賀バルーンフェスタ開催に合わせ、10月30日(木)～11月3日(月・祝)の期間中、大隈重信侯生家の一般公開が行われました。

期間中、ボランティアグループ「まきの会」のスタッフが生家内にてお客様をお出迎え。県内外から700名近い方が足を運んで下さり、築220年の趣きある生家の雰囲気を楽しまれました。室内では会の皆さんによる大隈侯や生家、佐賀についての説明に多くの方が耳を傾けられていました。紙芝居も好評で、子どもから大人まで笑顔で聞き入り、大隈侯が住まわれていた頃もこうではなかっただろうかと往時を偲ぶほどに賑やかでした。



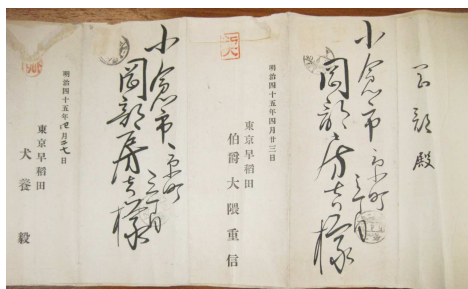
記念館もどの部屋也大賑わい。ビデオルームでもたくさんの方が大隈侯の生涯を熱心に辿っておられました。多くの方に大隈侯のことをより深く学んでいただけたのではないかと思います。



次の生家一般公開は佐賀城下ひなまつり期間中を予定しております。新しいおもてなし“大隈カルタ”もお披露目予定です。公開中の土・日曜は会のスタッフが生家をご案内致します。ぜひ足をお運びください。

収蔵資料の紹介

『岡部房吉宛書翰』『古賀家(伊万里)宛書翰』



▲ 書翰 封書部分

2013年、岡部家・古賀家、両家の子孫の方々より多数の書翰、写真など、大変貴重な資料を寄贈していただきました。翻刻、現代語訳が遂に完成し、展示する運びとなりました。差出人は大隈重信侯はもとより、犬養毅、渋沢栄一など、そうそうたる面々です。

リニューアルオープンにあわせてその一部を、その後少しずつ常設展示内で入れ替えて展示してまいりますので、皆様どうぞお楽しみに。

記念館よりお知らせ

リニューアルにあわせて企画展も開催予定です。是非この機会に、足をお運びください。

2月中旬以降の開館時間等

開館時間：9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日：年末年始(12/29～1/3)

入場料：大人300円・こども150円(団体割引あり)

◎大隈重信侯に関連する資料を収集しています！

大隈重信侯やそのご家族に関する資料(書翰、写真、遺品等)をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非声をおかけください。寄託・寄贈をご検討いただけましたら幸いです。

連絡先：佐賀市大隈記念館：佐賀市水ヶ江二丁目11番11号 TEL0952-23-2891

